

林美智子 (メゾ・ソプラノ)

Michiko Hayashi (Mezzo Sopurano)

林美智子オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

埼玉県出身。東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンへ留学。アテネで開催された「国際ミトロプーロス声楽コンクール 2003」で最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

2002年、新国立劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルでオペラ・デビュー。以降、同年の二期会創立50周年記念「フィガロの結婚」ケルビーノ、2003年には二期会・ケルン市立歌劇場共同制作「ばらの騎士」オクタヴィアン、日生劇場ベルク「ルル」(3幕版/日本初演)、2004年二期会「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、2005年佐渡裕指揮「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、2006年東京二期会「皇帝ティトの慈悲」セスト、2007年には新国立劇場「運命の力」プレツィオジッラ、同「フィガロの結婚」ケルビーノ、チョン・ミョンフン指揮の演奏会形式「イドメネオ」イダマンテ、日生劇場「カプレーティ家とモンテッキ家」ロメオ、2008年はびわ湖ホールと神奈川県民ホールの「ばらの騎士」オクタヴィアン、そして2009年には佐渡裕プロデュースオペラ「カルメン」タイトル・ロールで新たなカルメン像を創り絶賛を浴び、さらに2012年の日生劇場開場50周年・読売日響創立50周年・二期会創立60周年ライマン作曲「メデア」日本初演のクレオサ、2013年は2月に二期会「こうもり」オルロフスキー、7月に兵庫県立芸術文化センターでの佐渡裕指揮「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、そして2015年には紀尾井ホールにて「オリンピックアデ」のアルジェーネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と初役に挑み、卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。

チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィ等とベートーヴェン「第九」、マーラー「復活」・第4交響曲、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」をはじめとする宗教曲、ブラームス「アルト・ラブソディ」、ベルク「初期の7つの歌」、繊細かつ表現豊かな歌唱が高い評価を得たシルヴァン・カンブルラン指揮読売日響とのショーソン「愛と海の詩」などで国内外の主要オーケストラとも多数共演。

リサイタル活動においても求心力あるプログラムや、自ら作詞し野平一郎氏に作曲を委嘱した「夜～La Nuit～」の演奏、R. シュトラウスやプーランクの歌曲など、常に意欲的な取り組みを行っている他、モーツァルト作曲「コジ・ファン・トゥッテ」や「フィガロの結婚」を自らプロデュースするなど幅広く活動を行なっている。

2006年のファースト・アルバム「赤と黒」(Victor)に続き、2008年武満徹の「SONGS」全曲(+MI・YO・TA)を収めたCD「地球はマルイゼ～武満徹：SONGS～」(レコード芸術特選盤)をリリース。2012年2月には、パリの世紀末～20世紀初期までのエスプリに満ちた「ベル・エポック期」の歌曲を集めた〈ベル・エクサントリック～林美智子ベル・エポック歌曲集～Belle Excentrique (DDCB-13021)〉をリリース。

オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(2019年4月現在 1204文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

林美智子 (メゾ・ソプラノ)

Michiko Hayashi (Mezzo Sopurano)

林美智子オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンへ留学。アテネで開催された「国際ミトロプーロス声楽コンクール2003」で最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

2002年、新国立劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルでオペラ・デビュー。以降、二期会、新国立劇場を中心に多数のオペラ公演に出演、最近では2009年の佐渡裕プロデュースオペラ「カルメン」タイトル・ロールで新たなカルメン像を創り絶賛を浴び、さらに2012年の日生劇場開場50周年・読売日響創立50周年・二期会創立60周年ライマン作曲「メデア」日本初演のクレオサ、2013年は2月に二期会「こうもり」オルロフスキー、7月に兵庫県立芸術文化センターでの佐渡裕指揮「セヴィリアの理髪師」ロジーナ役で好評を博した。2015年には紀尾井ホールにて「オリンピーアデ」のアルジュエネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。

これまでにチョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ねる。リサイタル活動においても求心力あるプログラムや、自ら作詞し野平一郎氏に作曲を委嘱した「夜～La Nuit～」の演奏、R. シュトラウスやプーランクの歌曲など、常に意欲的な取り組みを行っている他、また、モーツァルト作曲「コジ・ファン・トゥッテ」や「フィガロの結婚」を自らプロデュースするなど幅広く活動を行なっている。

CDは「赤と黒」「地球はマルイゼ～武満徹：SONGS～」(レコード芸術特選盤)「ベル・エクサントリック～林美智子ベル・エポック歌曲集」をリリース。

オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(2019年4月現在 720文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

林美智子 (メゾ・ソプラノ)

Michiko Hayashi (Mezzo Sopurano)

林美智子オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演、2015年には紀尾井ホールにて「オリンピーアデ」のアルジュエネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。

チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ね、また、モーツァルト作曲「コジ・ファン・トゥッテ」や「フィガロの結婚」を自らプロデュースするなど幅広く活動を行っているなど人気、実力ともに群を抜くメゾ・ソプラノとして活躍する。CDは、「赤と黒」「地球はマルイゼ〜武満徹：SONGS」、「ベル・エクサントリック〜林美智子ベル・エポック歌曲集」をリリース。

オフィシャル・ホームページ <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

(2019年4月現在 423文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

Michiko Hayashi (Mezzo Soprano)

Michiko Hayashi graduated from Tokyo College of Music. She completed the graduate course of Toho Gakuen College Music Department, the course of Nikikai Opera Studio, and the first term of the New National Theatre Tokyo Opera Studio. She studied in Munich on a fellowship for overseas study from the Japanese Ministry of Culture. Hayashi won the top prize at the 2003 Mitropoulos Competition for singers, held in Athens. She was also awarded the 5th Hotel Okura Music Award.

In 2002, Michiko Hayashi made her opera debut as Hansel in *Hansel und Gretel* at the New National Theatre. She received high praise for her performance as Octavian in *Der Rosenkavalier* in a co-production by Nikikai and the Cologne Opera in 2003, and for performances in many other operas including *Le nozze di Figaro* (as Cherubino), Berg's *Lulu* (3-act version/Japan premiere), *Don Giovanni* (as Zerlina), *La clemenza de Tito* (as Sesto), *La Forza del Destino* (as Preziosilla), *I Capuleti e I Montecchi* (as Romeo), and *Carmen* (in the title role). She also performed the role of Creosa in the Japan premiere of Reimann's *Medea* in 2012, presented for the 50th anniversary of the Nissay Theater, the 50th anniversary of the Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, and the 60th anniversary of Nikikai. In 2013, she appeared in the performances of *Die Fledermaus* as Orlofsky and *Le barbier de Séville* as Rosina. In all of these roles, she captivated audiences with her superb singing voice and remarkable stage presence.

Together with major Japanese and non-Japanese orchestras, under the direction of conductors such as Myung-whun Chung, Paavo Jarvi and Sylvain Cambreling, Hayashi has participated in performances of religious works including Beethoven's Ninth Symphony, Mahler's "Resurrection" and 4th Symphony, Handel's *Messiah* and Verdi's *Requiem*, and other works including Brahms's *Alt-Rhapsodie*, Berg's *Sieben frühe Lieder*, and Chausson's *Poem of Love and the Sea*. She has been acclaimed for her sensitive and richly expressive singing.

2019/20 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.